

沖縄県警察主催「防犯フェア2024」で防犯注意喚起実施

～保険金に関する災害便乗商法や特殊詐欺の注意喚起を呼びかけ～

日本損害保険協会沖縄支部（委員長：大同火災海上保険株式会社 取締役常務執行役員 山里 武司）では、10月12日（土）にイオンモール沖縄ライカム（北中城村）で開催された、沖縄県警察主催の「防犯フェア2024」に参加し、犯罪の発生を抑え全ての人々が安全で安心して暮らせる地域社会を実現するための一助として、多くの方が被害にあっている保険金に関する災害便乗商法等に関し、注意喚起を実施しました。

開会挨拶では、沖縄県警察本部 島尻 哲也 生活安全部長から「本日のイベントは、県民の防犯意識を高め、犯罪のない社会を作るため、県民、学校、関係機関・団体が一丸となって取り組むちゅらさん運動を一層拡大するため開催している。皆さまには、防犯意識の向上とちゅらさん運動へのご理解・ご協力をお願いします。」と挨拶がありました。

沖縄支部では、沖縄県警察とともにイベント参加者やモールの来客者に対し、災害便乗商法およびSNS型投資詐欺をはじめとした特殊詐欺について、チラシを配布し注意を呼びかけました。

沖縄支部では、沖縄県や沖縄県警察をはじめとする、関係機関・団体とともに、災害便乗商法等の地域犯罪への注意喚起を通じて、地域の安全・安心向上に資する活動を推進して参ります。



沖縄県警察本部 島尻生活安全部長の挨拶



沖縄県警察チラシ配布の様子



損保協会チラシ配布の様子



配布したチラシ